

自己ペース読文課題

Self-paced reading task

中谷健太郎（甲南大学）

関西言語学会 第42回大会 於 京都大学

June 10th, 2017

自己ペース読文課題

- * コンピュータのモニタ上の文章を読んでもらう
 - * スペースバーを押すことによって
 - * 一定の塊ごと（たとえば単語や文節ごと）
 - * 実験参加者のペースで
- * 何を記録するか：
 - * 前のスペースバーを押した時点から次のスペースバーを押すまでかかった時間（＝提示された各語（群）を読むのにかかった時間）をミリ秒単位で

この手法の特徴

長所

- * 文中で困難が生じた箇所を特定できる
- * 低予算（コンピューター一台でできる）
- * 実験参加者の数をこなせる
- * 自然な姿勢で文を読んでもらえる

短所

- * 戻り読みが出来ない
- * 読み手は文の区切り方を決められない

今回使うソフト

- * **Linger** 2.94 by Doug Rohde

- * <http://tedlab.mit.edu/~dr/Linger/>

- * Tcl/Tkというインタプリタ式言語で書かれたスクリプト

- * 「インタプリタ式」プログラムはコンパイルの必要なし

- * wishというTcl/Tk実行アプリに読み込ませることで実行

- * Last updated in 2003 (!!)......しかしシンプルで使いやすいので読文実験では未だに広く使われている

- * 精度は4ms

- * <https://hlplab.wordpress.com/2009/02/02/diagnosing-the-linger-usb-keyboard-sampling-error/>

Linger

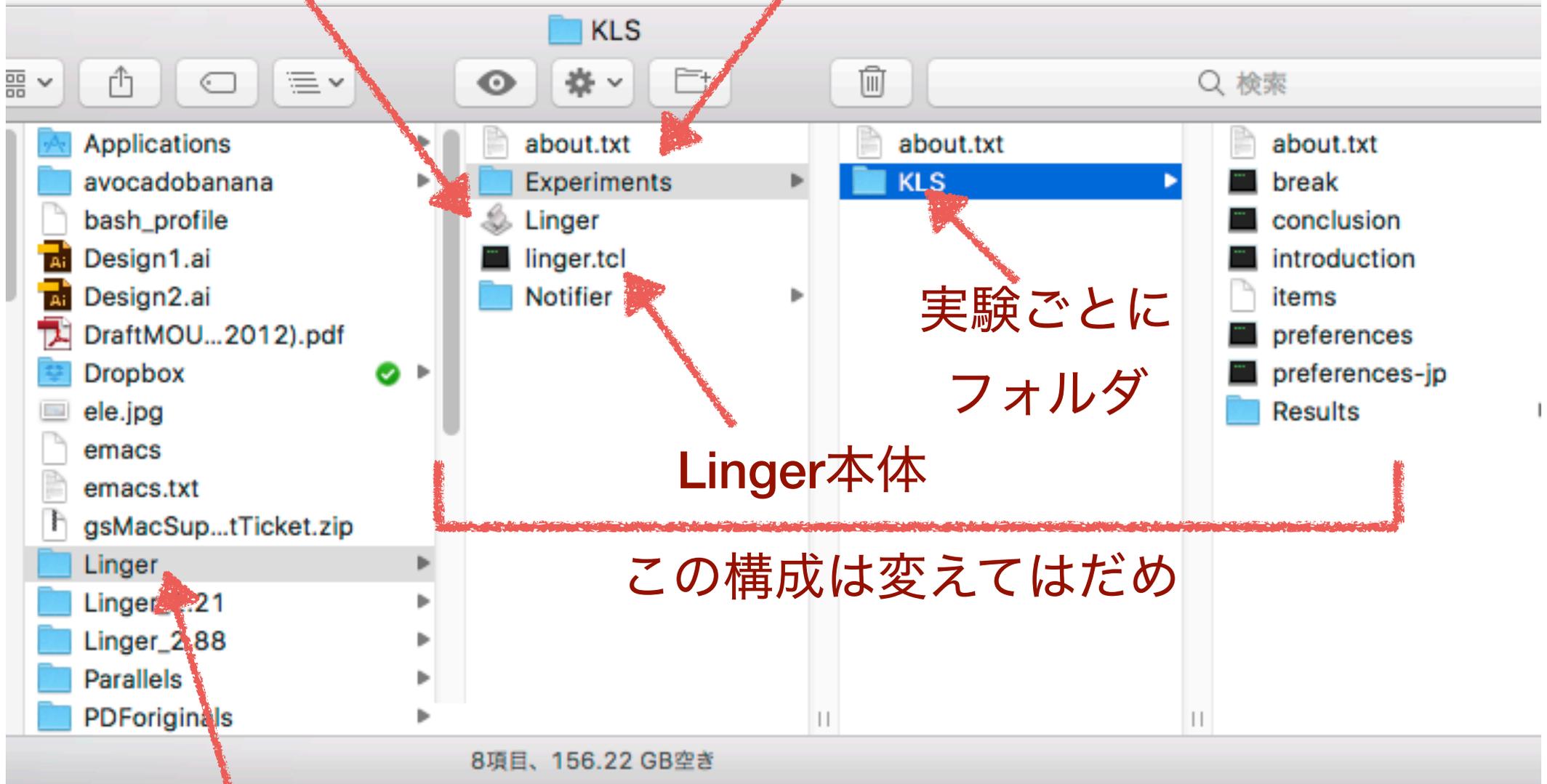
- * Unixコマンド環境が必要
 - * Macでは「ターミナル」アプリが標準でインストールされている。WinではSygwinなど。
 - * MacではAppleScriptでLingerをダブルクリックで立ち上げるローンチャを作成することが可能
- * 日本語で使うのに少しだけアレンジが必要
- * wishのバージョンが新しいと期待通りの動作をしないので注意。wish 8.4で使うのが無難。

Linger

- * 日本語環境および新しめのMac環境で動作させる方法は拙ウェブサイトの*A note on Linger*を参照
- * <http://www.konan-u.ac.jp/hp/nakatani/lingernote.html>

Launcher (AppleScript)

実験を入れるフォルダ



実験ごとに
フォルダ

Linger本体

この構成は変えてはだめ

基本的にどこに置いてもいい

Lingerの立ち上げ方

- * Shellコマンドを打つ

(MacのTerminal.appやWindowsのSygWin)

1. linger.tclが入っているディレクトリに移動

⇒ **cd**コマンドを使う (**c**hange **d**irectory)

2. **wish8.4 linger.tcl** とタイプしてEnterキー

- * ショートカットコマンドを登録することも可能

- * AppleScriptのLauncherをダブルクリックする

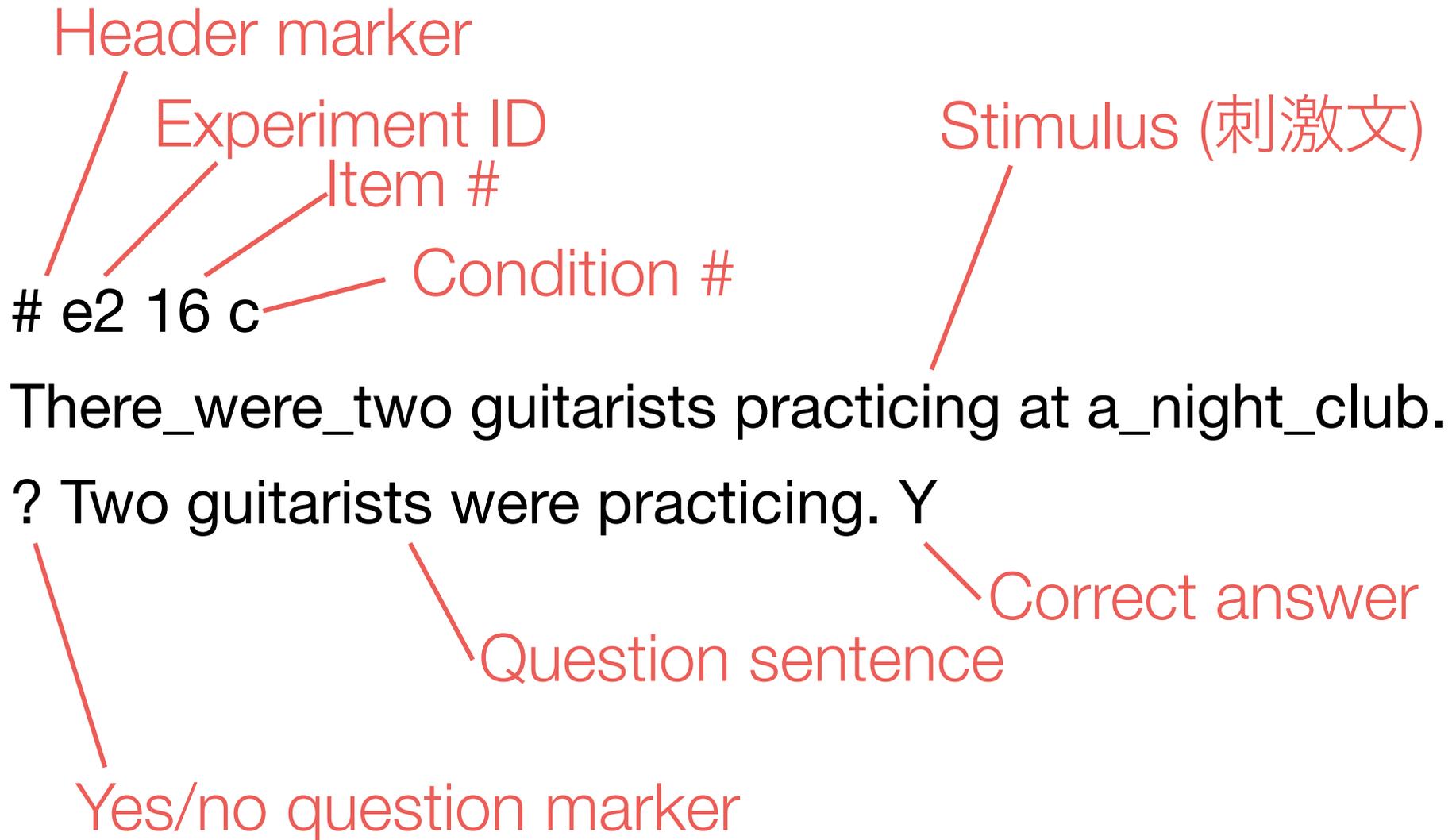
実験フォルダのファイル構成

- * ファイルはすべてテキストファイル（拡張子なし）
- * テキストエンコーディングはUTF-8にしています
- * 環境設定ファイル
 - * preferenes, preferenes-jp
- * 実験の内容ファイル
 - * introduction, break, conclusion
 - * items

実験の指示を
カスタマイズ

実験材料を格納

itemsファイル (Target)



itemsファイル (Target)

スペースが提示regionを区切ります

e2 16 c

There_were_two guitarists practicing at a_night_club.

? Two guitarists were practicing. Y

提示regionを区切らず、region内にスペースを
含ませたい場合はアンダーバー

itemsファイル (Filler)

Header marker
ID
Item #
Condition #
filler 8 -

Fillerは
条件のバリエーションが
ないので無指定

Eight magicians were talking about the new technology.
? There were nine magicians. N

itemsファイル (Target)

スペースなしでRegionを提示したい場合

kureage 8 b

友人が|私に|花束を|くれた。

? 私は花束をもらった.Y

(|を使わずPreferencesで設定
することも可能)

preferences, preferences-jp

- * linger.tclを開くと最初の222行に、多数の変数オプションが用意されている ⇒デフォルト設定
- * デフォルト設定を変更したい場合
⇒実験フォルダの中にpreferencesファイルを用意して、変更したい変数をlinger.tclからコピーして変更
⇒linger.tcl本体を変更することなくデフォルト設定を実験ごとに変更できる

preferences

- * `set LangEncoding utf-8`
- * `# Should spaces within blocks be masked?`
`#set MaskJoins 1`
- * `# Should spaces between blocks be masked?`
`#set MaskSpaces 1`
- * `# The gap between mask dashes (in pixels)`
`#set MaskGap 0`
- * `# The color of the dashes:`
`set MaskColor gray`
- * `set PadX 0`

preferences

- * # How many sentences btw breaks
- * set BreakInterval 20
- * # The time the feedback message stays on the screen when the answer was wrong:
#set FeedbackDelayWrong 5000
- * encSource preferences-jp

中谷独自オプション

preferences-jp

- * `set TextFont "-family {ヒラギノ角ゴ Pro W3} -size -18"`
- * `set BigFont "-family {ヒラギノ角ゴ Pro W3} -size -24"`
- * `set ContinueFont "-family {ヒラギノ角ゴ Pro W3} -size -18"`

preferences-jp

- * `set WrongAnswer` "残念！ 不正解です"
- * `set PressKey` "次に進むにはスペース・バーを押してください"
- * `set QuestionKeys` "「はい」には \"[string toupper \$YesKey]\" を、 「いいえ」には \"[string toupper \$NoKey]\" を押してください。 "